

名古屋大学グローバル・マルチキャンパス推進機構・学術専門職の募集について

名古屋大学グローバル・マルチキャンパス推進機構は、名古屋大学（以下「本学」という。）がこれまで蓄積してきた海外大学等との連携を強化し、国際的な教育、研究、産学連携活動を推進しています。今回、本学が加盟する国際コンソーシアム（APRU、MIRAI）の関連業務をはじめとした国際展開業務を担当する学術専門職を下記のとおり募集します。

記

1. 機関・所属：
グローバル・マルチキャンパス推進機構グローバル・エンゲージメントセンター（名古屋市千種区不老町）
2. 職名・人員：
学術専門職（任期付正職員） 1名
3. 業務内容：
（雇入れ直後）
（1）本学が加盟する国際コンソーシアム（以下、「コンソーシアム」という。）APRU・MIRAI（下記参照）に係る以下の業務
・事務局及び加盟大学との連絡調整
・コンソーシアムで実施される各種教育研究事業等への参画コーディネート
・コンソーシアムを活用した新規事業の企画立案・調整・実施
・各種会合への参加（海外出張を含む）
（2）本学海外拠点等と連携したネットワークの強化と、それらを活用した国際活動の業務
（3）戦略的パートナー大学との連携強化に係る業務
（4）教職員間の協調のもと、上記業務遂行のための関連部局/組織との連携と調整
（変更の範囲）
東海国立大学機構が指定する業務
4. 勤務場所
（雇入れ直後）名古屋市千種区不老町 名古屋大学東山キャンパス
（変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所
5. 応募資格：
（1）大学院修士課程修了、もしくは同等の学歴・経験を有する者
（2）以下のいずれかに該当する者
・日本語を母語とする場合、業務遂行に支障のない英語力を有する者
・日本語を母語としない場合、業務遂行に支障のない英語力及び、日本語能力試験1級程度以上の日本語能力を有する者
（3）上記3. の業務を能動的かつ円滑に遂行するために必要な企画・立案能力、マネジメント力、判断力、思考力、コミュニケーション力を含む総合的な実務能力を備えていること
（4）大学における国際交流等の業務の経験と実績を有することが望ましい
6. 採用予定日：
2026年4月1日
7. 任期：
2029年3月31日
※定年は、東海国立大学機構が定めた年齢とする。（現在は62歳。今後、段階的に65歳まで引上げ予定）

8. 勤務条件:

- ・ 勤務時間: 月～金の週 5 日、8 時 30 分～17 時 15 分(休憩時間 12 時～13 時)
- ・ 休 日: 土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
- ・ 休 暇: 年次有給休暇、特別休暇等
- ・ 給 与: 年俸制 新卒者の場合、基準年俸額 約 370 万円、月額 31 万円相当(本学の規程により本人の経験等を考慮して加給額を決定)
通勤手当支給(支給要件有り、上限 150,000 円/月)
- ・ 保 険 等: 文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
そ の 他: 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる

9. 応募書類

1) 提出書類

- ① 履歴書(様式任意、写真貼付、連絡先、電話番号、電子メールアドレスなどを含む)及び職務経歴書
- ② 応募動機・抱負等(日本文の場合、1,200 字程度、英文の場合、A4 ダブルスペース 2 枚程度)
- ③ 応募者について照会できる方 2 名の氏名、所属、連絡先(電話番号及び電子メールアドレス)
- ④ 上記 4.(2)の語学能力を証明するもの(能力検定試験のスコアシート(コピー可)等)があれば添付
- ⑤ 本選考に参考となるその他の資料
- ⑥ 様式1「類型該当性の自己申告書およびフローチャート」(※12.(4)参照)

2) 応募書類送付先

①～⑤の順に結合した単一の PDF と⑥の PDF を下記の電子メールアドレスに添付ファイルで送って下さい。ただし、各 PDF のファイル名は、次のとおり付けて下さい。

- ①～⑤統合ファイル: 1(氏名)応募書類
⑥ : 2(氏名)類型該当性

名古屋大学教育推進部基盤運営課 犬飼

E-mail: kiban-jinji[at]t.mail.nagoya-u.ac.jp

※[at]を@に置き換えて下さい。

(1) メールの「件名」は、「GMC学術専門職応募(氏名)」として下さい。

(2) 応募書類のファイルが10MBを超える場合、上記アドレスにご一報下さい。折り返しアップロード用の URLをお知らせします。

(3) 応募書類を受領後、確認のメールを返信します。返信がない場合は、上記アドレスまでお問い合わせ下さい。

10. 応募期限:

2025 年 11 月 17 日(月)17 時必着

11. 選考方法:

書類選考の上、二次選考として対面又はオンライン上で面接を実施します。

面接予定日時等の詳細は、面接実施者へのみ、12月上旬までにお知らせいたします。

連絡先(携帯電話番号・電子メールアドレス等)を履歴書に記載願います。

面接のために旅費等が必要となった場合は、応募者の負担となります。

12. 問い合わせ先

問い合わせは電子メールで行って下さい(電話での問い合わせには応じられません)。

1) 職務内容に関する問い合わせ先:

名古屋大学教育推進部国際連携課 川原弘美

E-mail: intl[at]t.mail.nagoya-u.ac.jp ※ [at]を@に置き換えて下さい。

2) 応募に関する問い合わせ先:

13. その他

- (1) 応募書類は原則として返却いたしませんので、予めご了承下さい。
- (2) 提出いただいた書類は、本選考のためだけに使用し、それ以外の目的には使用いたしません。
- (3) 名古屋大学は評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用しています。
- (4) 様式1「類型該当性の自己申告書」の提出について

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員および学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。

様式は以下の URL から取得して下さい。

URL: <https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/center/anzen.html>

参考: 名古屋大学が加入するコンソーシアム

■APRU: Association of Pacific Rim Universities

各国の高等教育の相互協力関係を強め、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として 1997 年に設立されました。環太平洋地域を代表する大学約 60 大学がメンバーで、名古屋大学は 2017 年より加盟しました。

<https://apru.org/>

■MIRAI 2.0 (2024 年 1 月から MIRAI 3.0 に移行予定)

2015 年 3 月に開催された「日本・スウェーデン学長サミット」をきっかけに、日本・スウェーデン間の学術交流・連携の更なる強化を目指して形成されました。スウェーデン研究・高等教育国際協力財団(STINT)のパイロットプロジェクトとして採択され、2017 年から活動を開始しました。スウェーデン 11 大学、日本 8 大学がメンバーです。2020 年からは第 2 期としてMIRAI2.0を実施しています。

<https://www.mirai.nu/>